

「心」訳 般若心經
こころの庫を
開く鍵

PRAJÑĀ-PĀRAMITĀ-HRDAYA-SŪTRA

著・川辺秀美

川辺秀美（かわべ・ひでみ）

株式会社スカイライター代表取締役 立教大学文学部卒業。高野山大学大学院修士課程密教学中退。出版社で書籍編集長を経て独立。書籍編集に従事するなかでビジネス書から音楽書、科学書、写真集など幅広いジャンルを手がけ、10万部を超える異色の作品を数々送り出した。現在は「編集」というコンセプトを社会に還元するために、人材教育開発・執筆・出版エージェントを中心に活動している。「ことばの力」を育むことが教育の基本と考えている。主な著作に『22歳からの国語力』（講談社現代新書）、『人を動かす「文章術」』（PHP ビジネス新書）、『空海 人生の言葉』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、『空海 今を生きる言葉』（ソフトバンク文庫）、『空海と密教美術』（共著・洋泉社カラー新書y）などがある。

<http://www.skywriter.co.jp>

「心」訳 般若心經 ～こころの庫を開く鍵～

2011年9月8日 第1刷発行

著者 川辺秀美

発行者 石崎 孟

発行所 株式会社マガジンハウス

〒104-8003

東京都中央区銀座3-13-10

電話 受注センター 049(275)1811

書籍編集部 03(3545)7030

印刷・製本所 凸版印刷株式会社

装丁 佐藤豊彦 SUPER PROJECT

写真 佐藤ケイジュ、佐藤豊彦

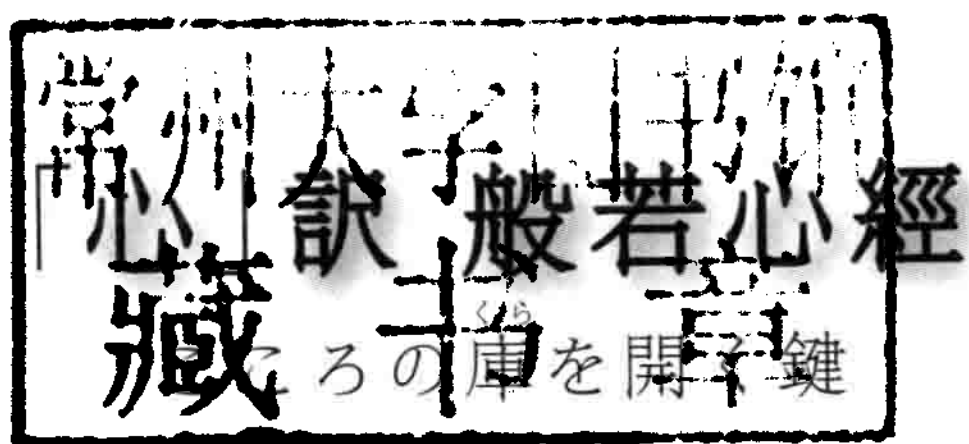
©2011 Magazine House Co.,Ltd, Printed in Japan

ISBN978-4-8387-2312-6 C0095

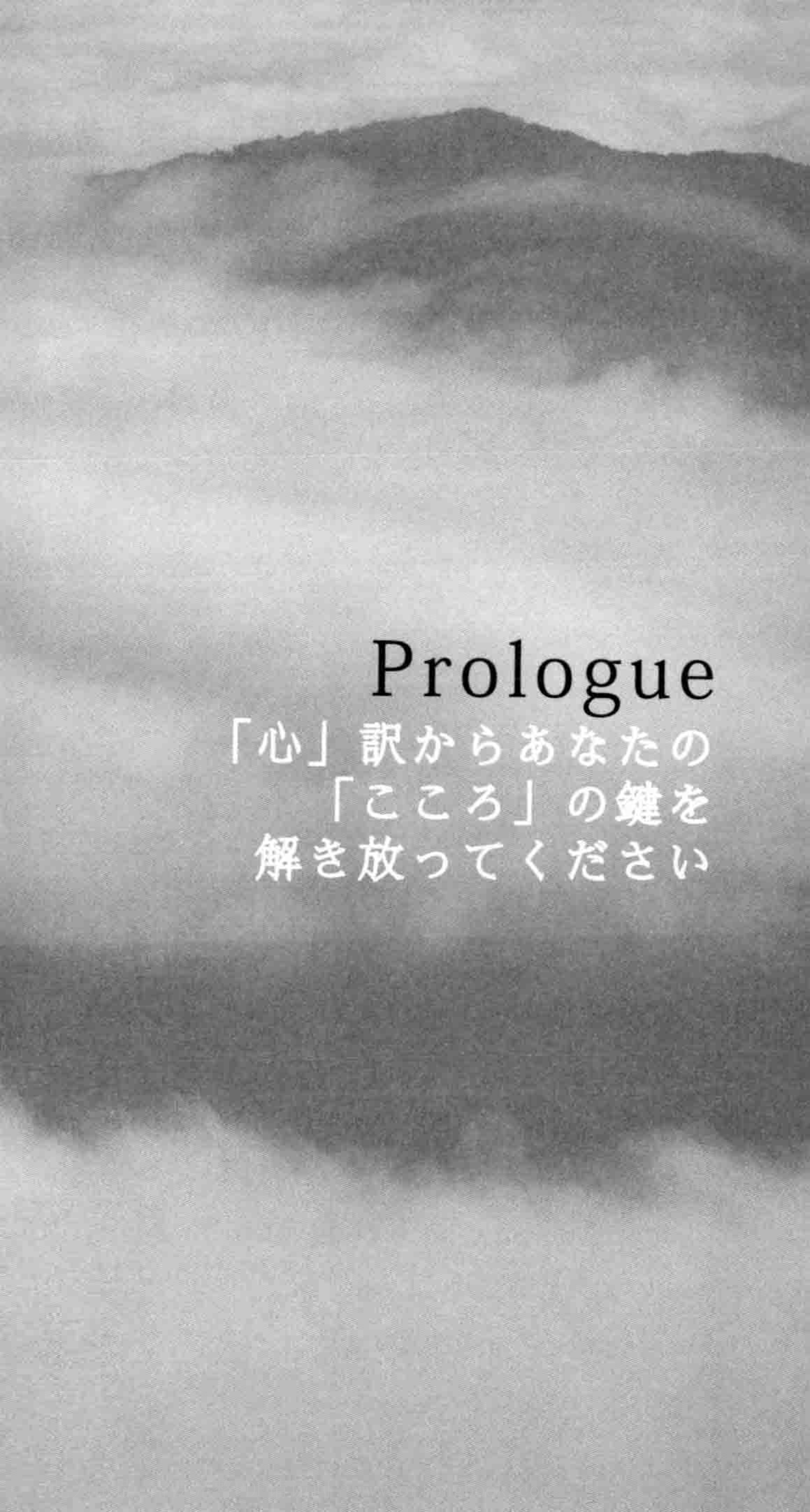
乱丁・落丁本は小社製作部宛にお送りください。
送料負担にてお取り替えいたします。定価はカバーと帯に表示
してあります。

マガジンハウスのホームページ

<http://magazineworld.jp/>







Prologue

「心」訳からあなたの
「こころ」の鍵を
解き放ってください

般若心經（心經）に英訳があったことをご存じでしょうか？

時は明治 17 年 (1884) まで遡ります。日本が欧米列強に対抗して産業や軍事を強化していった時代です。そんな中で仏教をグローバル化しようとしていた一人の日本人がいました。それが南條文雄^{なんじょうぶんゆう}です。南條はその後、日本初の文学博士となり、仏教学における近代化の基礎をつくりました。そして、この南條とともに般若心經を英訳した人物がいました。それが F・マックス・ミュラーです。ミュラーはオックスフォード大学教授で比較言語学の権威でした。この人も仏教をグローバル・ナレッジにし大きな功績をあげた人です。日本とも関係が深く、東京大学に「マックス・ミュラー文庫」として、サンスクリット文献や仏教学の資料を 2 万冊も寄贈しました。しかし、残念ながら関東大震災によって、蔵書はすべて焼失してしまいました。

南條とミュラーが心血を注いだ、般若心經の英訳『The ancient palm-leaves containing the Pragna-paramita- Hridaya-Sutra』は、いつ

の日からか^{かえり}顧みられることがなくなっていました。この英訳は現存する最古のサンスクリット語の般若心經（法隆寺蔵）から訳出したものです。出版史のなかで^{あまた}数多出版が繰り返される「般若心經」本ですが、そのなかでも私が目にした英訳の引用は専門書の一冊のみで、南條とミュラーの功績を生かしているとは言いがたい状況です。もちろん、日本人の英語力とも関係があるのですが、あまりにも早すぎた成果だったのかもしれませんが。本書のコンセプトを考えたとき、まずはこの先人の^{えいち}叡智を現代にふさわしいスタイルで^{よみがえ}甦らせたいと思いました。

般若心經というテーマは、1200年前から、日本人にとって大切なテキストとして読み継がれ、声に出して読誦され、書として写経されてきました。しかし、それほど身近で重要なものにも関わらず、心經の意味を問われると、わたしたちは答えることができません。なぜなのかというと、「般若心經」の^{くどく}功德ばかりが^{けん でん}喧伝され、ただ声に出して読み、無心で写経すればよいと言われ続けてきたからです。

2011年。それは、わたしたち日本人にとって大きな転機として記憶される年となりました。ご存じのとおり、東日本大震災によって、わたしたちは多くのものを喪失すると同時に再生するための光が必要となったのです。

そこで私はこの心經というものがこの時代に再び日本人が学ぶべきテキストとして編まれる必要性を感じたのです。しかも、グローバルな視点での心經が求められていることを直観したのです。

心經は、過去に多くの高僧たちがたびたび解釈してきましたが、あまりに専門的、または抽象的で、一般人には理解できませんでした。また、いま存在する現代語訳は直訳の域を離れず、意味が不鮮明であるというのが現状です。

本書では、漢訳、英訳、現代語訳を見開きページに収めることによって、三つの言語を対比させながら、じっくり読めるように配慮しました。それぞれを比較すると、かなり表現が異なっていることに気づくはずです。これは言語

の背景にある文化の違いでもあります。このようにして読者のみなさまに本を熟読していただく機会をつくり出すことが大きな狙いです。

般若心經には、わたしたち日本人が大切にしている「こころ」の本質が説かれています。だからこそ「心經」と言われるのです。その真理に近づくことがわたしたちにとって大きな意味をもちます。

日常の中でじっくり考え、想う機会をつくることができれば、どんな困難をも超えられる自らの「こころ」に出会うのではないのでしょうか。

「こころ」というものには、わたしたちが考えている以上に大きな力が内在しています。そのパワーを解き放ったとき、絶望していた現実が輝ける世界へと変わる瞬間があるのです。そのことを高らかに宣言したお経が般若心經なのです。

2011年 9月吉日 川辺秀美





經心用誦讀

得^{とく}以^い無^む所^{しやう}得^{とく}故^こ菩^ぼ提^{だい}薩^{さつ}埵^た依^え般^{はん}若^{にや}波^は羅^ら蜜^{みつ}多^た故^こ心^{しん}無^む罣^{けい}礙^げ無^む
 罣^{けい}礙^げ故^こ無^む有^う恐^{くう}怖^ふ遠^{おん}離^り一^{いつ}切^{さい}顛^{てん}倒^{どう}夢^む想^{そう}究^く竟^{ぎやう}涅^ね槃^{はん}三^{さん}世^ぜ諸^{しよ}佛^{ぶつ}
 依^え般^{はん}若^{にや}波^は羅^ら蜜^{みつ}多^た故^こ得^{とく}阿^あ耨^{のく}多^た羅^ら三^{さん}藐^{みやく}三^{さん}菩^ぼ提^{だい}故^こ知^ち般^{はん}若^{にや}波^は
 羅^ら蜜^{みつ}多^た是^ぜ大^{だい}神^{じん}咒^{しゆ}是^ぜ大^{だい}明^{みやう}咒^{しゆ}是^ぜ無^む上^{じやう}呪^{しゆ}是^ぜ無^む等^{とう}等^{どう}呪^{しゆ}能^{のう}除^{じよ}
 一^{いつ}切^{さい}苦^く眞^{しん}實^{じつ}不^ふ虛^こ故^こ說^{せつ}般^{はん}若^{にや}波^は羅^ら蜜^{みつ}多^た咒^{しゆ}卽^{そく}說^{せつ}呪^{しゆ}曰^{わつ}
 揭^ぎ諦^{やてい}揭^ぎ諦^{やてい} 波^は羅^ら揭^ぎ諦^{やてい} 波^は羅^ら僧^{そう}揭^ぎ諦^{やてい} 菩^ぼ提^じ薩^そ婆^わ訶^か
 般^{はん}若^{にや}心^{しん}經^{ぎやう}

※各宗派によつて発音が若干異なります。声に出して自然に感じられる音を採用して下さい。

讀誦經心用

佛說摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中無色無受想行識無眼耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死亦無老死盡無苦集滅道無智亦無

目次

Prologue

「心」訳からあなたの「こころ」の
鍵を解き放ってください 3

どくじゅよう
読誦用心經 10

「心」訳 般若心經 15

般若心經をもっと理解するための
仏教用語解説 117

般若心經 英訳 全文 125

解説 般若心經とは何か？ 131

Epilogue

心經はいつもこころの中に 145

あとがき

般若心經は、読書をアートに変える
156





「心」訳 般若心經